

ふたば  
**双葉**

愉しく 仲良く 元気よく  
志を持ち国際社会に羽ばたくシカゴっ子

校長： 長谷川 雄一

お昼になると一斉にお花が咲きます。

～ 子どもたちの笑顔 お弁当の時間です。 ～

シカゴ双葉会日本語学校 全日校

(シカゴ日本人学校) 校長 長谷川 雄一

お昼になると、幼稚園から始まり、小学部、中学部と一斉にお花が咲き始めます。色とりどり、香り豊かに、一人ひとりの小さなお弁当箱から大きなお弁当箱に美味しそうなお昼御飯が教室に彩りを添えていきます。どの子もうれしそうに、楽しそうに食べています。

さすがに、お弁当の時間は保護者参観にはできませんが、それぞれのご家庭の愛情とご苦労が感じられるひとときです。見事に同じお弁当はひとつもありません。「いつもお母さん、ありがたいね」と声をかけると、「うちはお父さんが係です」とある児童が言いました。なるほど、そういうこともありますね。本校の園児、児童生徒たちは食べ方もきれいで、どの子も笑顔で食べています。各家庭のあたたかさやしっかりとした生活習慣が感じられます。

以前、イギリスのオクスフォード大学に視察に行った際、印象的だったのは、食堂でした。

歴史を感じさせる食堂の中央に一段高くなっている床があり、テーブルがありました。説明では、ここには様々な分野の教授たちが円卓を囲みながら食事をとるのだそうです。そして学生たちは一段下がったフロアーから、教授たちがどのような会話をしているのか、学問や研究のヒントを学んだり、マナーや作法を学んだりするとのことでした。世界最高峰の大学の学びが、昼食の時間にヒントがあるなど興味がつきない話題でした。そういえば、各クラスでは担任の先生と楽しそうに会話をする子どもたちの姿もあります。日本国内でも黙食がこの数年続きましたが、やはり、会食は大切です。

私事ですが、小学2年生の時のお弁当が思い出されます。当時、絵日記を書いていました。

ある日のページに大きな卵焼きが描かれており、「今日のおべんとうは、まずかったです。」と一言書いてあります。理由は忘れましたが、前夜、母とけんかになり、その怒りがおさまらない中を学校に行き、さらには夜にそのような絵日記を書いたのですから、相当な大喧嘩だったのだと思います。実は内心、大きな卵焼きは好物でうれしかった気持ちがありましたが、そこで考えを張り巡らし、「まずかった」と記した複雑な心境を今でもかすかに覚えています。

当時の担任の先生は、「なぜ、まずかったのですか？」と朱色のペンで返してくれました。子ども心に、「先生、あなたもセンスがないよ」と思いました。

今日も子どもたちは、お弁当から様々な親の思いと愛情を感じながら食べています。

## 現地校との交流が始まりました ～ 人と人の触れ合いを通じて ～

本校の特色の一つである現地校との相互交流が始まりました。小学部は学年ごとに、中学部は学部として交流を進めています。中学部の交流に行かせていただきましたが、相手校の生徒たちの個性豊かな人柄と、本校中学部生徒の真面目で粘り強く、紳士淑女的なふるまいがとても印象的でした。英語でのやりとりも、苦戦しながらもあきらめずに応じようとする姿勢や中には上手に会話の潤滑油になれる生徒もおり、本校生徒のレベルの高さも感じられました。

以前勤めたアジアの日本人学校では、お弁当を隠して食べている生徒がいました。赴任当初、生徒から「先生、おれのお弁当見る？」と聞かれ、振り返るとそこにはお弁当箱にぎっしりと詰まった餃子だけのお弁当がありました。餃子は主食でありおかずにもなり、現地の人々にはあたりまえの食事なのですが、それをからかい、いじめる日本人の生徒がいました。当時はまだ日本人学校と言っても、日本と同じ受験勉強だけやっていたらよいのだ、現地語より英語、現地理解教育など誰も望んでいないのことも先輩教員から聞きました。学校がそのような姿勢ですから、児童生徒のいじめが絶えないわけです。現地語がペラペラの生徒が、わざと話せないふりをするなど、ひどいものでした。

校長先生がかわり、生徒会担当として現地校との交流を始めるよう指示された時のことです。初回の会議から最悪の雰囲気でした。教員も生徒も全員がムツとした顔で怒っており、今さら何を無駄なことをやろうとしているのかとあからさまにやる気のない雰囲気が漂っていました。この雰囲気は実際に相手校に行くまで続き、学校から歩いて現地校に行くまでの約1.5キロの上り坂がやけにきつかったことを覚えています。約30名の生徒はいいやいや参加し、誰もおしゃべりもしませんでした。

ところが、相手校に到着し、交流が始まるとその雰囲気が一変しました。

なぜなら、笑顔も見せず、やる気のない生徒たちを待ち構えていたのは、現地校生徒たちの笑顔と大きな拍手でのお迎えでした。交流の時間になると現地校の生徒は日本人学校の一人ひと

りに声をかけ、おもてなし用に手作りで用意した海苔巻きやおにぎり、お茶漬けを振舞ってくれました。中身は日本のものとは大きく異なり、甘いものばかりが詰まっていたのですが、彼らの笑顔とあたたかい言葉かけ（日本語がとても上手でした）に誘われて、互いに食べながら会話が弾みました。こちらから用意した浴衣や着物なども男女を問わず興味を示してくれて、なかなかおもしろい写真も撮ることができました。この写真はのちに日本国内の様々な国際理解教育の資料で使用されました。

最後の極めつけは、お互いの質疑応答の時間でした。

ありきたりの相互の学校生活や家庭生活の様子を交換したあと、日本人学校の生徒から

「あなたの国は日本を含む多くの国々と正式な国交がありません。昨日、唯一の大国である韓国が国交を断絶しましたが、それについてはどう考えますか」との厳しい質問が出ました。

実はこれは私のクラスの生徒が面白半分を考えていたいじわるな質問で、担任からは絶対にするなと釘を刺されていたものです。一瞬その場は氷つきました。「これでこの交流は終わった」と私は感じました。

ところが、相手校の校長先生から「誰かこたえられる生徒はいますか」との投げかけがあり、一人の女子生徒がすっと手をまっすぐにあげました。すると、その生徒は笑顔で、こうこたえました。「私たちの国を心配していただき、ありがとうございます。今回のことは、私の国にとってはとても残念なことです。しかし、相手国の事情もあり、しかたのないことでもあります。いずれにしても、どのようなことが起きても、私たちは自分の国を大切に思い、誇りに考えています。その考えはかわりません」その後、相手校の生徒たちから拍手が沸き起こりました。日本人学校の生徒たちはというと、自分たちが思い描いてきた偏見とイメージがいかに恥ずかしいものであるかを突き付けられた感じがしたようです。

日本人学校までの帰りの下り坂は、行きとは真逆の雰囲気でした。

生徒も教員もみな笑顔で、「行ってよかった」「自分たちよりはるかに大人だった」「同年代にすごい子たちがいる」「自分たちも勉強しなければ」と予想外の反応が返ってきました。

おそらく、30年前のあの当時の生徒たちが今現在、あの国の政治や経済を動かしているのだと思います。現地校との交流は、ただのイベントでは意味がありません。相手から何を学ぶか、そして現地校の友人に何を伝えられるかが重要です。ちなみに、当時のこの交流会が第1回目となり、それから現在まで32年間続いています。

シカゴにいる子どもたちは、現地校の児童生徒から何を学び、どんなことを心に刻んでくるのでしょうか。楽しみです。

## エディマップ（HP 制作会社）・教育のための科学研究所 主催

### ～ 本年度の学校ウェブサイト大賞に ～

本校の利用している HP 制作会社より、今年度 800 校中 1 位の大賞を受賞したとの連絡がありました。この会社は日本国内外の学校の HP を作成する会社です。教育のための科学研究所と NTT データ、さくらインターネットが学校情報のオープンデータ化を目指して 2019 年に開始した学校ウェブサイト提供プロジェクトで、学校ウェブサイトを原則無償で構築し、無料で提供しているようです。ちなみに、教育のための科学研究所は、代表理事・所長として新井紀子 国立情報学研究所研究センター所長兼教授（著書として、ベストセラーになった「AI VS. 教科書が読めない子どもたち」があります。）、理事には代々木ゼミナール、東京書籍、NTT データ、野村総合研究所、ベネッセ教育総合研究所、東洋経済新報社、等の方々が理事を務められている組織です。

授賞式は 11 月 26 日に東京であり、この HP の立ち上げに尽力していただいた杉谷先生（今年 3 月にご帰国）に代表として表彰式に参加していただきました。



## 中学部3年生 実力テスト結果（学力が伸びています）

	国語	数学	英語	社会	理科
5月 偏差値	58	60	59	61	57
10月偏差値	63	61	62	73	63

中学部3年生の実力テスト結果が日本から送られてきました。

5月に比べて5教科の成績が確実に伸びていることがわかります。偏差値はご存じのとおり、1～2の数字をあげることもたいへんです。特に60台から70台ともなれば、至難の業です。そうした中を、よくがんばっています。

12月1日には、中学部の壮行会があります。これが仮の卒業式となり、いよいよ各自が目指す志願校に向けて受験することになります。

## 日本では人権週間です（12月4日～10日）

～ 世界共通の価値 基本的人権の尊重 ～

All Human being are born free and equal in dignity and rights.

They are endowed with reason and conscience and should act towards one another in a spirit of brotherhood.

Universal Declaration of Human Rights

「すべての人は、生まれながらに自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。」

昭和23年（1948年）12月10日 世界人権宣言

私は原文を読んだことは一度もありませんでした。やはり、原文だと単刀直入に、的を得た実感があります。

これを批准した国々は、どのような表現でそれぞれの国の言葉で訳されているのか興味がありました。同時にこうした原文は、なるべく児童生徒にも原文のまままで読ませてみると、よいのかなとも思います。

日本国内では、12月4日から10日まで人権週間が始まります。学校だと多少日がずれたり、人権旬間とする学校もありますが、概ね6月ごろとこの12月に講話を聞いたり、学級で話し合ったり、人権作文を書いて発表するなどが全国どここの学校でも行われます。

かつては日本固有の差別事象について社会科や学級で学ぶというスタイルがほとんどでしたが、平成12年（2000年）の「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の公布・施行により、扱う内容は大きく変化してきました。この法律により、人権教育として、女性・子ども・高齢者・障がい者・同和問題・アイヌの人々・外国人・感染症・ハンセン病患者・刑を終えて出所した人・犯罪被害者・インターネット上の人権問題・北朝鮮による拉致被害者の人権侵害・ホームレスに対する偏見や差別・性的マイノリティ・震災関連に起因する偏見や差別など、きめ細かく具体的な取り組みが求められるようになりました。

特にこの法律の前段階として、国連で世界的な人権教育推進のための取り組みが行われたことが大きく日本にも影響しています。つまりは、人権教育の推進は、日本の学校だけでなく、企業や役所、自治体等を含めた国としての大きな取り組みであり、さらには世界的な潮流であり、国連が主導して進めてきた一環といえます。

ここアメリカでは社会の様々な場面で人権について考えさせられることがあります。人権教育では人権感覚を身につけることが最も大切です。そしてその一番の教育は子どもが幼いころから近くにいる大人が行動で示し、背中を見せることだと言われています。

私は以前、役所に勤務していた頃、課長から「長谷川さん、今度、県内すべての小中学校校長が参加する研修会に、多摩全生園のハンセン病元患者さんの〇〇さんを講師としてお呼びしたいのだが、については打合せと当日の送迎をお願いします」との指示がありました。

詳細はここでは省きますが、当日の園から会場までのお迎えと終了後の園までは、講師の〇〇さんの負担を考えて、行きも帰りもタクシーを使用する段取りでした。当日はお天気もよく、お迎えも講演も無事に終了し、いよいよタクシーで園まで送ることになりました。

すると〇〇さんが、「今日はお天気もよいし、私は電車で帰りますから、気にしないでください」との申し出がありました。物腰は柔らかく、いつも笑顔でしたが、さすがに国を相手に人権侵害を訴え続け、総理大臣と対した方ですから、芯はしっかりと一本通っていました。しかし、そうは言っても、ご高齢の上、お身体が不自由なこともあり、私は園まで付き添うことにしました。まずは会場を出て駅まで歩きました。駅で電車に乗ると次には乗り換えがありました。当時、この駅は県内を東西南北に横切る在来線のハブのような駅で、千葉にも東京にも茨城にも山梨にもつながる駅であり、いつも混雑していました。さて、この混雑の中をどう安全に行き先のホームにお連れするか、いくつもの階段と激しく流れるような人の流れは、少しばかり想定外でした。そこをなんとかすり抜けながら、なんとか目的のホームへたどりつくことができました。〇〇さんも相当お疲れだったと思います。1300人の校長先生方の前で約2時間立ちっぱなしで講演をされたのですから、早く座りたいはずです。ホームを見渡すと、人、人、人でしたが、偶然目の前のベンチは空いていました。思わず〇〇さんもさすがに、すぐに座りこみました。

しばらくすると、若いお母さんと幼稚園に入るか入らないかくらいの女の子がやってきました。〇〇さんの隣のベンチがふたつ空いていたのです。内心、ここで女の子が〇〇さんと顔を

あわせ泣き出してしまったり、お母さんが座るのをやめて移動してしまったりすることを瞬間的に心配しました。ここまで来て、〇〇さんに嫌な思いをして帰したくはないとの気持ちからでした。時間にしてほんの数秒の間でしたが、若いお母さんは幼い子を〇〇さんの隣に座らせ、軽く会釈をされました。女の子も泣くことはありませんでした。日常の若いお母さんと幼い女の子との何気ない風景がそこにあり、それを笑顔で見守る〇〇さんの姿がありました。

やがて、電車がホームに到着すると、母と子は〇〇さんに会釈をして乗車していきました。〇〇さんも乗車をすると、今度はお化粧ばっちりの女子高校生が、さりげなく〇〇さんに座席を譲り、その前に立ちながら携帯電話を操作していました。車内でも終始、〇〇さんがいやな思いをすることなく、約20分足らずの乗車時間を終えました。駅で下車すると、〇〇さんはここでけっこうです、今日は貴重な機会をありがとうございましたと挨拶をされました。駅から歩いてわずかな距離ですが、お言葉に甘えさせていただきました。

帰り道、今まで自分が迷いながらやってきた仕事が、社会の中でこのような形で浸透し、若いお母さんやその子どもさん、そして女子高校生にまで、人権尊重の大切さが拡がりを見せていることを感じうれしくおもいました。

数年後、県内の小中学校・県立学校の校長先生を前に挨拶の中で、この経験を話しました。各学校に帰り、ぜひ先生方にみなさんが取り組まれている人権尊重の教育は、確実に社会を変えていますよと感謝を伝えて下さいとお伝えしました。そのあと、思いがけず大きな拍手がおこり、会場の担当者からは「校長会の挨拶であのような拍手が起きたのを、私は初めて経験しました」と言われました。迷い迷いながら取り組んできた仕事のひとつの節目になりました。数年前に〇〇さんがお亡くなりになったとの新聞報道に触れ、深い感謝の気持ちで一杯になりました。

ハンセン病は国が本気になり、政策の誤りを見つめ、なぜこのようなことが起きたのかを真剣に検証し報告しています。膨大な量となり、印刷すると持運びも困難な量ですが、人権を侵害することがいかにひどいことにつながるのか、人が人でなくなる政策がなぜ長年に渡り放置され続けたのか、そして総理大臣の謝罪があっても、まだまだ続く差別と偏見、人間のすばらしさと、人間の愚かさを教えてくれる貴重な資料となっています。

## 避難訓練 避難方法を変更しました。

先日の理科室における実験中の発報（消防通報）については、ご心配をおかけしました。その際、避難方法と避難指示に大きな課題があることが判明しました。アーリントンハイツ消防署に確認したところ、以下のように校内の避難体制を見直しました。

- 1 避難方法 火災警報が発令された場合は、速やかに屋外に出て避難するよう指導します。

避難場所は、セントエドナ教会とします。

2 避難指示 避難指示は、全校放送と教職員が各自で持つトーキーを通じて、英語と日本語で指示をします。

## 年末 ご注意ください。

アメリカでも年末になると、犯罪が増加するとのこと。

先日の朝、あるバス停で子どもたちが出発した後、駐車場にいた保護者にお金をせがむ不審者が近づいてきたとの報告がありました。学校でもその都度、情報を入手してドライバーさんに注意を促しています。何か不安な点がありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。

(ここまでの文責は校長にあります。ここからは教頭先生が作成しています。)

### 【子どもたちの作品】



中学部2年生：一針、一針、丁寧に縫って、きれいな模様！



5年生：初めての手縫いに挑戦

6年生：2回目のミシン縫い作品





1年生：「はってかさねて」



4年生：「Tree in the spooky night」



3年生：「デザイン葉っぱ」



2年生：「秋をならべて」



2年生：「ふしぎなたまご」



5年生：「From Shape to Form」



中学3年生：「ステンドグラス」



中学部2年生：「多色刷版画」



3年生：「Downtown」



2年生：「あみこみ絵」



中学部1年生：「ドライポイント」



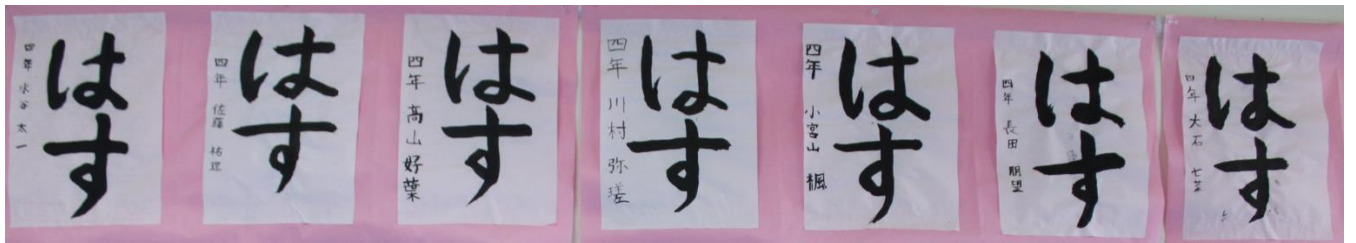
6年生：「Human Power」



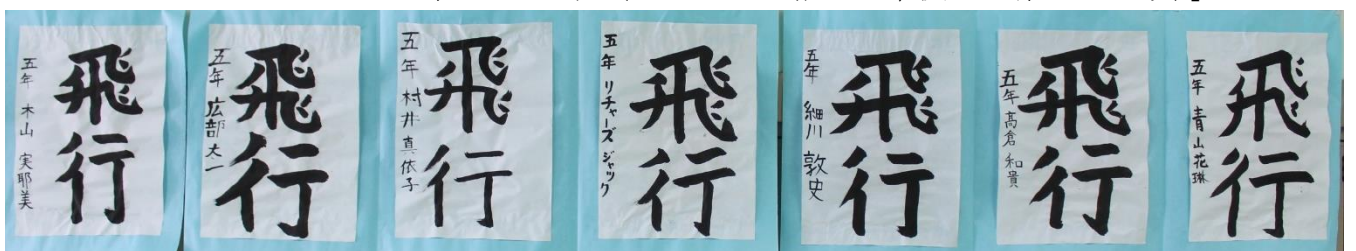
6年生：「砂絵」



3年生：「木（右払いの筆使いを確かめよう）」



4年生：「はす（ひらがなの結びの筆使いを確かめよう）」



5年生：「飛行（用紙に合った文字の大きさ）」



6年生：「街角（部分の組み立て方）」

【オフィスより】

第3回目の授業料等請求日は下記となります。よろしくお願いいたします。

すみれ幼稚園 請求日：12/6/2023（水） 支払期日：12/20/2023（水）

全日校 請求日：12/5/2023（火） 支払期日：12/19/2023（火）

【12月の予定】

		12月				
日	月	火	水	木	金	土
					1 全校朝会 PTA 常任委員会 中3 壮行会	2
3	4 個人懇談会① (中1・2)	5 個人懇談会② (中1・2) 委員会⑨	6 個人懇談会③ (中1・2) 教育相談日 中学部探究学習 発表会 クラブ発表会①	7 個人懇談会④ (中1・2) 小4 交流学習 小3 交流学習	8 個人懇談会⑤ (中1・2) 中学部交流学習	9
10	11	12 クラブ⑧	13 クラブ発表会②	14 小学部 スキー教室説明 会 11:00～	15 小4 交流学習 幼稚部クリスマス 会	16
17	18	19	20	21 2学期終業式 下校 12:00 幼稚部 11:30	22 冬季休業	23
24	25	26	27	27	28 学校無人	30
31						